

とかち CAST2025アクセシビリティセミナー開催要領

1 事業目的

本事業は、在宅療養をされている方々の生活の質（QOL）の向上を目指し、「アクセシビリティ」の視点を取り入れることで、特に意思疎通が難しい方への支援をより丁寧で実効性のあるものにしていくことを目的としています。

なかでも、発話や身体の動きが困難な方に対して、ICTを活用したコミュニケーション支援の重要性を理解し、現場で適切な支援策を検討・実施できるようになることを目指します。

2 事業の主旨

・在宅療養支援の充実と専門職の意識向上

重度のコミュニケーション障害がある方に対する支援のあり方を改めて見つめ直し、ご本人の「意思の発信」と「双方向のコミュニケーション」が支えられるような関わりを考えていきます。あわせて、支援計画を立てる際にその視点が組み込まれるよう、関係職種との理解と意識の向上を図ります。

・アクセシビリティの視点の導入

講師がギランバレー症候群を発症された際のご経験から、「閉じ込め症候群」における意思伝達の困難さと、その手段を確保することの大切さについてお話しいただきます。その実体験を通じて、ICTを活用した実践的な支援について学びます。

・実践的な支援策の検討と事例の共有

すでに行われている具体的な支援の事例を紹介しながら、どのようなツールや制度を活用できるのかを一緒に考え、在宅療養支援をさらに充実させるための新しい取り組みにつなげていきます。

3 主催 とかち CAST 東京慈恵会医科大学アクセシビリティサポートセンター（ASC）

4 後援 北海道難病医療提供体制整備事業

十勝保健医療福祉圏域連携推進会議難病対策専門部会（難病対策地域協議会）

5 日時 R7年6月27日（金）18:30～20:15

6 場所 とかちプラザ1階大集会室 Zoomと併せてハイブリッド開催予定

7 対象 保健医療福祉介護、教育、生涯学習、保育等関係職

8 内容

座長 保前 英希（ほうぜんひでき）氏

帯広厚生病院副院長 神経内科専門医

十勝保健医療福祉圏域連携推進会議難病対策専門部会（難病対策地域協議会）座長

(1) 講演1 アクセシビリティへの思い（仮）（30分）

講師 高尾 洋之（たかおひろゆき）氏

東京慈恵会医科大学先端医療情報技術研究部准教授 脳神経外科医

アクセシビリティサポートセンター（ASC） プロジェクトリーダー

(2) 講演2 コミュニケーションに課題を抱える事例へのアクセシビリティ機器の導入（仮）（30分）

講師 高橋 宜盟（たかはしよしあき）氏

東京慈恵会医科大学 ASC 訪問研究員（有）オフィス結アジア代表取締役

一般社団法人結ライフコミュニケーション研究所代表理事

申込フォーム



(3) 座長より十勝圏域における活動紹介（15分）

(4) 対談・質疑応答（30分）

9 申込 6月20日までに Google フォームから申込 <https://forms.gle/eyrjftMJUC857p4XA>

10 問合せ とかち CAST 事務局メール tokachi.cast@gmail.com

電話 080-4331-5630(合同会社ミライリス/相談支援事業所うららか黒柳)